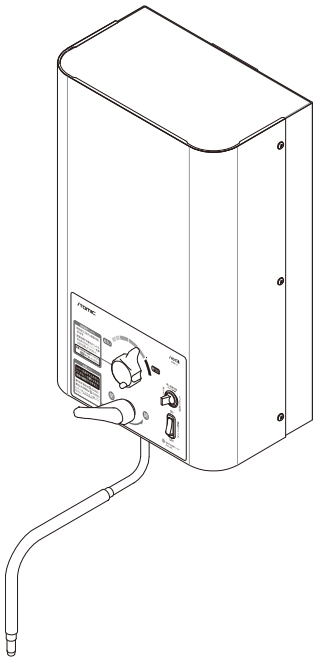
アイホット
iHOT14

iTOMIC
お湯のトータルプランナー

# 工事要領・取扱説明書

## 製品名：壁掛貯湯式電気温水器（元止式）

## 型　式：EWM-14



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。
（この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。）

株式会社 日本イトミック
〒 130-0002 東京都墨田区業平 5-11-3 イトミックビル
TEL:03（3621）2121（大代表）　FAX:03（3621）2130
フロント課（修理依頼承り先）
TEL:03（3621）2161（代表）　FAX:03（3621）2163

# もくじ


**共通項目 ……2**

**安全上のご注意……3**

**iHOT14（型式：EWM-14）について ……5**
各部名称 ……5
仕様一覧 ……6

**工事要領 ……8**

**施工前にご確認ください……9**
1. 部品の確認 ……9
2. 設置場所の確認 ……10

**施工する……11**
1. 設置工事 ……11
2. 配管工事 ……14
3. 電気工事 ……15
4. 施工後の確認 ……16

**試運転を行う……17**
1. 温水器に給水する ……17
2. 試運転を行う ……19
3. 試運転後の確認 ……21

**取扱説明 …… 22**

**使用方法……23**
1. 使用前の準備と確認 ……24
2. 運転する ……24
3. 出湯する ……26
4. 沸上温度切替スイッチの使い方 ……28

**長期間使用しないときは（排水の方法）……29**

**お手入れの方法……33**
保守点検項目と実施の目安 ……33
漏電遮断器の動作確認 ……34
外装のお手入れ ……34

**こんなときは……35**
管理技術者の方のみ リセットの方法 ……37

**アフターサービス……39**
消耗品の定期交換について ……39
補修用性能部品について ……39
修理をご依頼の際には ……39

# 共通項目

# 安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

## 警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

**⚠警告** この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**⚠注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

△の記号は、注意（警告を含む）を払う必要のある事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
（左図の場合は『高温注意』という意味です。）

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
⃠の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は『分解禁止』という意味です。）

●の記号は、しなければならない行為（強制行為）を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。）

## 重要事項：必ずお守りください

| ⚠警告 | |
|---|---|
| | **必ずアース（D 種接地）工事を確認してください。**<br>アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。 |
| | **電圧は定格電圧の± 10%以内でお使いください。**<br>火災の原因となります。 |
| | **必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。**<br>万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。 |
| | **電源プラグ付属の漏電遮断器の動作を必ず確認してください。**<br>万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。 |
| | **100V 15A 以上のコンセントを専用でお使いください。**<br>火災のおそれがあります。 |
| | **電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。**<br>火災のおそれがあります。 |
| | **排水は必ず本体の電源を切ってから行ってください。**<br>感電のおそれがあります。 |
| | **交流 100V 以外で使用しないでください。**<br>火災、感電の原因となります。 |
| | **屋外に設置しないでください。**<br>感電、故障の原因となります。 |
| | **アース線はガス管や水道管、および電話線や避雷針のアースに接続したり、他の電気機器のアースと共用しないでください。**<br>火災や爆発など事故の原因となります。 |
| | **本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。**<br>発火のおそれがあります。 |
| | **濡れた手で電源の操作を行わないでください。**<br>感電のおそれがあります。 |

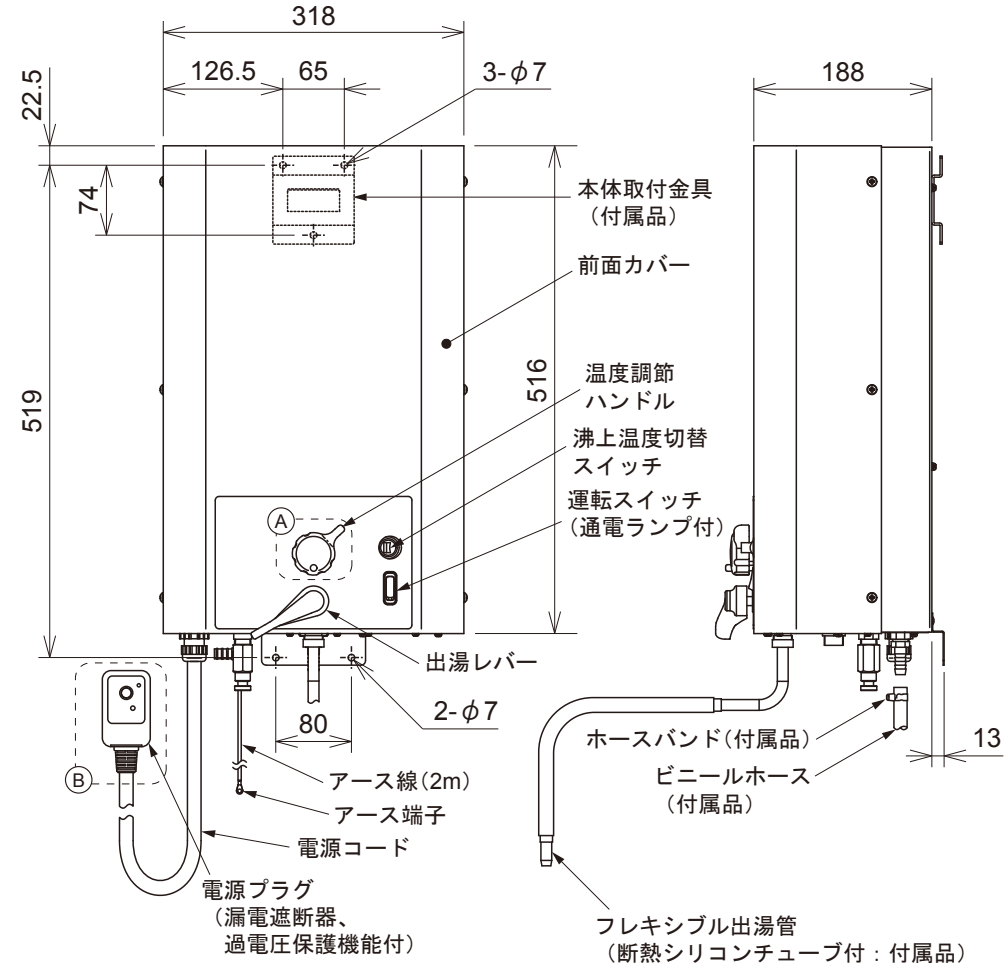
| ⚠警告 | |
|---|---|
| | **絶対に改造はしないでください。**<br>火災、感電、やけど、湯槽破損やケガの原因となります。 |
| | **湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。**<br>水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障、感電のおそれがあります。 |
| | **給湯中とその直後は高温になっていますので、出湯管に直接触れないでください。**<br>やけどのおそれがあります。 |

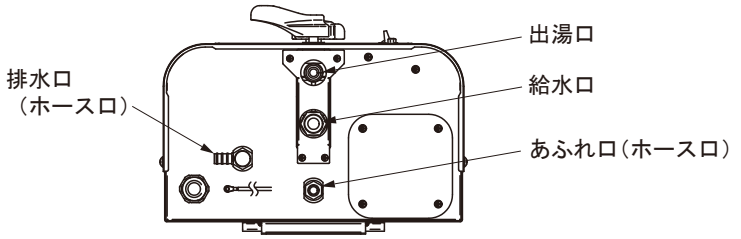
| ⚠注意 | |
|---|---|
| | **温水器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。**<br>落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。 |
| | **水道水以外は使用しないでください。**<br>井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。 |
| | **水道水に添加物を混ぜないでください。**<br>健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。 |
| | **長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。**<br>健康を害するおそれがあります。 |
| | **出湯管の先端は絶対にふさがないでください。また、出湯管に泡沫器具やホース・浄水器など取り付けないでください。**<br>あふれ口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。 |
| | **あふれ口の先端は絶対にふさがないでください。**<br>湯槽や配管が破損して漏水や故障の原因となります。 |
| | **出湯レバーは途中で止めないでください。**<br>あふれ口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。 |
| | **温水器の満水質量に耐えられる十分な強度を持つ壁面に必ず垂直に設置してください。**<br>故障の原因となります。 |
| | **給水接続配管はステンレス製もしくは銅製のものを使用してください。**<br>漏水の原因となります。 |
| | **給水接続配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。**<br>漏水の原因となります。 |
| | **満水にしてから通電してください。**<br>故障の原因となります。 |
| | **飲用する場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。**<br>健康を害するおそれがあります。 |
| | **規定の給水圧力にてご使用ください。給水圧が高い場合は必ず減圧弁を取り付けてください。**<br>誤動作、故障の原因となります。 |
| | **水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。**<br>配管が破損するおそれがあります。 |
| | **長期間使用しない場合は湯槽の水を抜いてください。**<br>水質が悪化するおそれがあります。 |
| | **電源プラグを抜くときは、コードを持たずプラグ本体を持って抜いてください。**<br>感電、発火のおそれがあります。 |

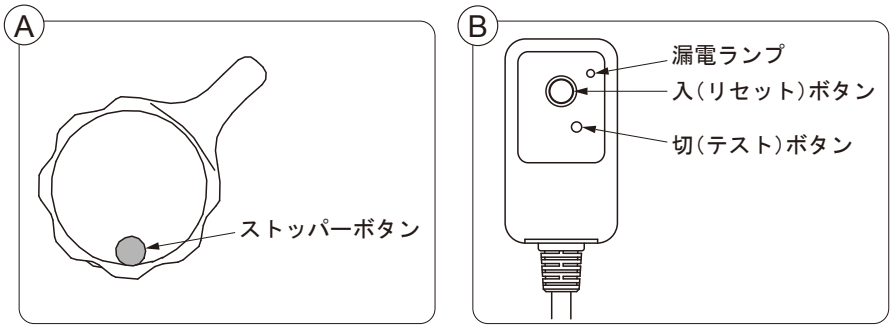
# iHOT14（型式：EWM-14）について

本機は65℃または85℃の沸かし上げを行う元止式の壁掛貯湯式電気温水器です。

## 各部名称（単位：mm）



# 仕様一覧

| | | |
|---|---|---|
| 定格 | 電圧 | 単相 100V |
| | 周波数 | 50 ／ 60Hz |
| | 消費電力 | 701W |
| 貯湯量 | | 14 L |
| 沸き上がり温度 | | 省エネ（中温） モード：約 65℃<br>たっぷり（高温）モード：約 85℃<br>（湯槽からの放熱などにより、実際の出湯温度は低くなります） |
| 給水方式 | | 元止式 |
| 給湯方式 | | 押し上げ落差式 |
| 給水圧力 | | 0.1 ～ 0.5MPa |
| 出湯流量 | | 約 3.5 L ／分（調整不可） |
| 一次側使用水温 | | 40℃以下（凍結しないこと） |
| 使用雰囲気温度 | | 0 ～ 40℃（凍結しないこと） |
| 設置場所 | | 屋内 |
| 接続部 | 給水接続口径 | G1/2 オネジ（15A） |
| | 排水接続口径 | 適合ホース内径 12mm |
| 安全装置 | 漏電検出 | 電源プラグ（漏電遮断器、過電圧保護機能付） |
| | 空焚き検出・過昇温検出 | バイメタル式 |
| 本体寸法W × D × H（mm） | | 318 × 188 × 516 |
| 満水質量 | | 約 23kg |

※沸き上がり時間の目安はP.25を参照してください。

MEMO

# 工事要領

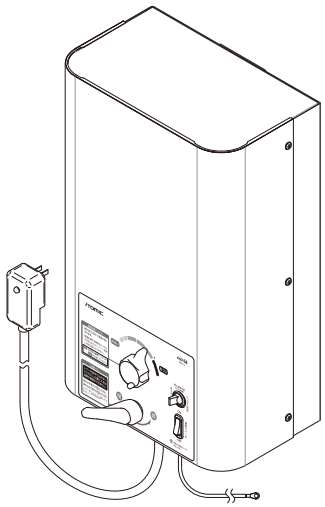
**正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。**

# 施工前にご確認ください

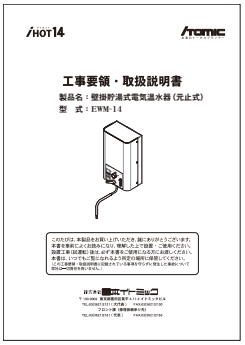
## 1. 部品の確認

**【本体および付属品】**

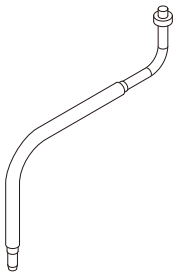
**EWM-14本体**



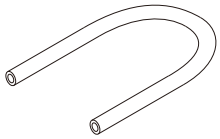
**付属品**




工事要領、取扱説明書× 1
（この冊子です。当冊子は工事終了後、
ご使用になられる方へお渡しください。）

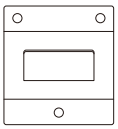


フレキシブル出湯管（長さ：400mm）
（パッキン、袋ナット、断熱シリコン
チューブ付）× 1



ビニールホース
（長さ：600mm、口径：12mm）× 1

木ネジ× 5



本体取付金具× 1

ホースバンド× 1
取付寸法図× 1

**【お客様にてご手配ください】**

### お客様手配品

①漏電ブレーカ ・・・・・万一の故障や漏電した際の事故を防止します。（30mA、0.1秒）
②止水栓 ・・・・・・・・・排水やリセット操作時に給水を止めるため必要です。
③ステンレスフレキ管・・・温水器を取り外せるよう施工するために必要です。
④給水管 ・・・・・・・・・温水器と接続するために必要です。
⑤ストレーナー ・・・・・温水器内へのゴミの流入を防止します。
⑥パッキン、シールテープ ・・配管接続部分から漏水させないために必要です。
パッキンは必ずノンアスベストパッキンをご使用ください。
ゴム製のパッキンを使用すると、漏水のおそれがあります。

上記（①～⑥）は必ずご用意ください。

⑦本体取付板・・・・・・・軟質壁（ベニヤ板・化粧板・石膏ボードなど）に温水器を取付けるために必要です。大きさは幅 200 ～ 300mm、厚さ 20mm以上のものを用意してください。長さは取付け状況に合わせて決定してください。

⑧補強板、補強金具　・・・軟質壁（ベニヤ板・化粧板・石膏ボードなど）に温水器を取付けるために必要です。

⑨ AY プラグボルト　・・・硬質壁（コンクリートなど）に本体取付金具を取付けるために必要です。ボルト径 M5

上記（⑦～⑨）は取付け状況に合わせてご用意ください。

**関連商品**（弊社にてお求めいただけます。）

長さ違い出湯管　・・・・・500mm、800mmをご用意しております。

一軸型減圧弁 いちじく（iJG-K）　・・給水圧力が0.5MPaを超える場合は取付けてください。（最高使用圧力：0.75MPa）

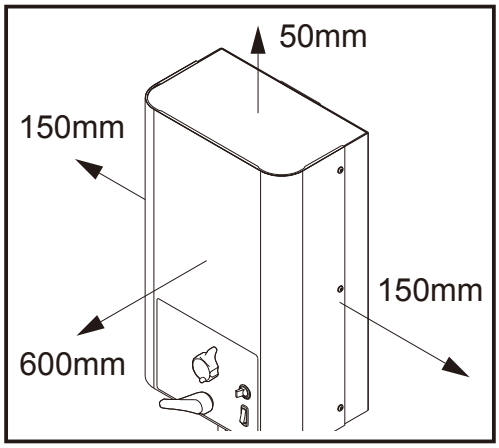
## 2. 設置場所の確認

### チェックリスト

| 項　目 | チェック内容 | チェック |
|---|---|---|
| 凍結対策 | 冬季にも凍結しない場所ですか？<br>冬季に凍結する場所の場合、凍結防止処置が必要になります。 | □ |
| メンテナンススペース | メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスの際に製品を取り外すことができません。 | □ |
| 本体まわり | 温水器のすぐ下にガスコンロなどの燃焼器具はありませんか？<br>安全のため、燃焼器具の近くには設置できません。 | □ |
| 取付壁面 | 垂直な壁面ですか？<br>垂直でない場合はお取り付けいただけません。 | □ |
| | 満水質量（約 23kg）に耐えられる壁面ですか？<br>強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。 | □ |
| 給水圧力 | 給水圧力は0.1 ～ 0.5MPaの範囲内ですか？<br>温水器が正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。 | □ |
| 電圧 | 定格電圧の± 10％ 以内ですか？<br>火災の原因となりますので、必ず上記範囲内の電圧であることを確認してください。 | □ |

### EWM-14のメンテナンススペース

本製品のメンテナンス用スペースは、機器に対して上方に50mm以上、左右に150mm以上、前方に600mm以上必要です。



# 施工する

## 1. 設置工事

| ⚠警告 | |
|---|---|
| | **屋外に設置しないでください。**<br>感電、故障の原因となります。 |
| | **本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。**<br>発火のおそれがあります。 |
| | **湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。**<br>水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障、感電のおそれがあります。 |

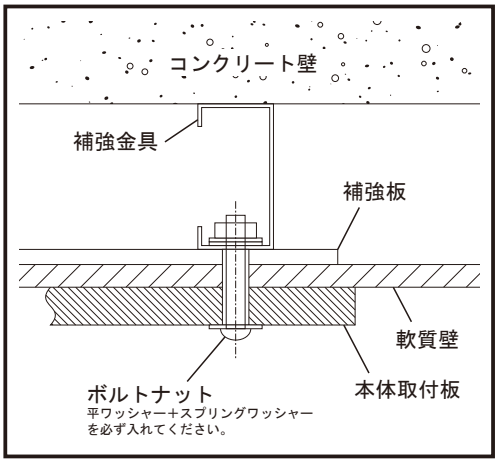
| ⚠注意 | |
|---|---|
| | **温水器の満水質量に耐えられる十分な強度を持つ壁面に必ず垂直に設置してください。**<br>故障の原因となります。 |

### 電気温水器の設置

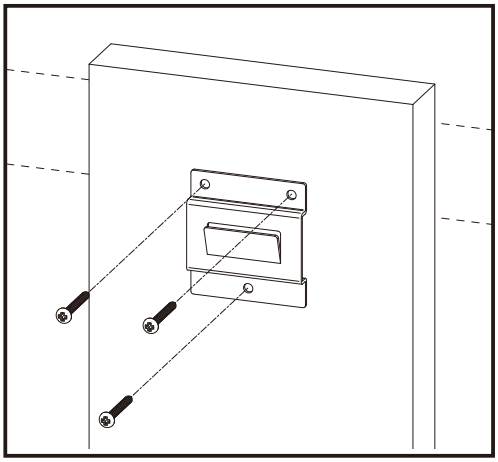
【軟質壁（ベニヤ板・化粧板・石膏ボードなど）に取付ける場合】

①補強板や補強金具などで壁面を補強し、本体取付板を壁面に取付けます。

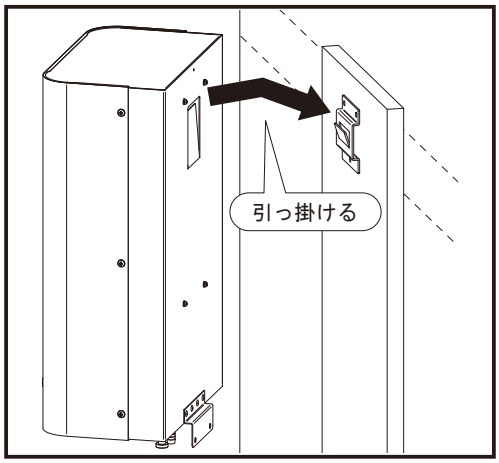
※取付寸法は付属の『取付寸法図』で確認してください。



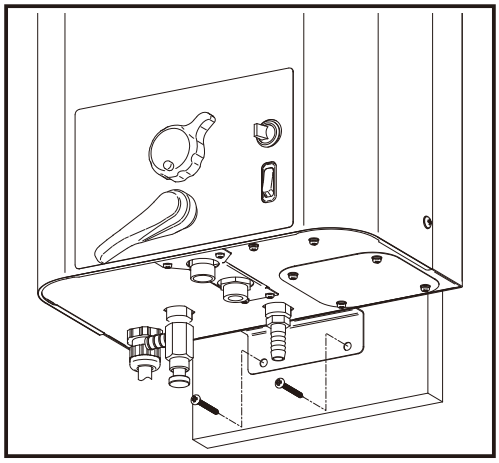

②付属の木ネジで本体取付金具を本体取付板に固定します。



③温水器を本体取付金具に引っ掛けます。




④付属の木ネジで温水器本体を本体取付板に
取付けます。

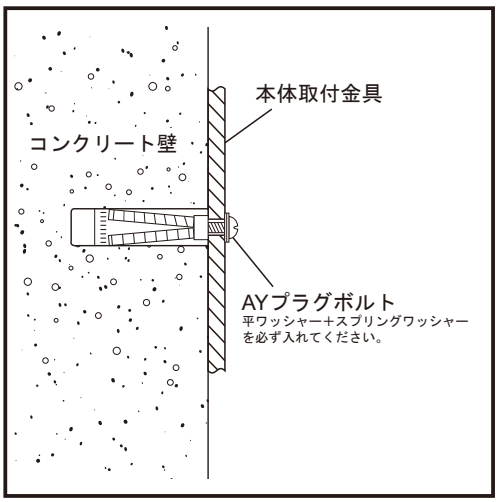


## 施工する

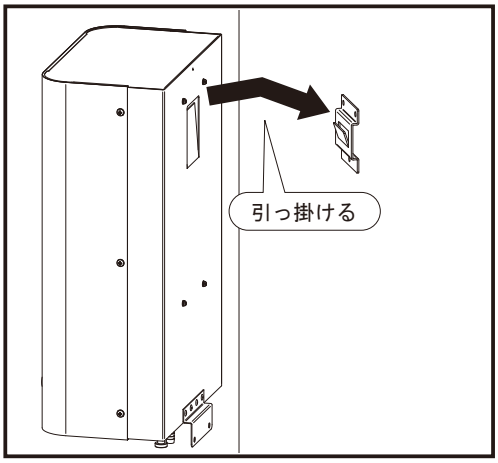
【硬質壁（コンクリートなど）に取付ける場合】

① AYプラグボルトで本体取付金具を直接壁面に取付けます。

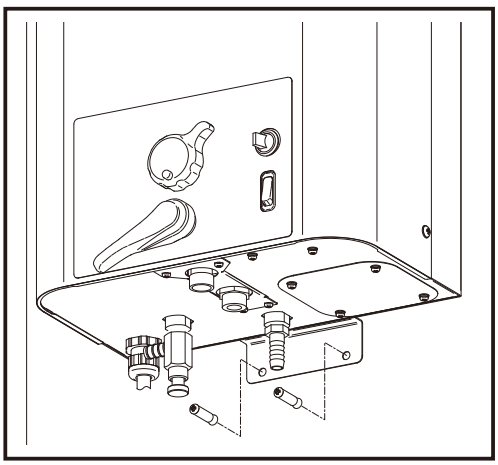
※取付寸法は付属の『取付寸法図』で確認してください。




②温水器を本体取付金具に引っ掛けます。




③ AYプラグボルトで温水器本体を壁面に取付けます。

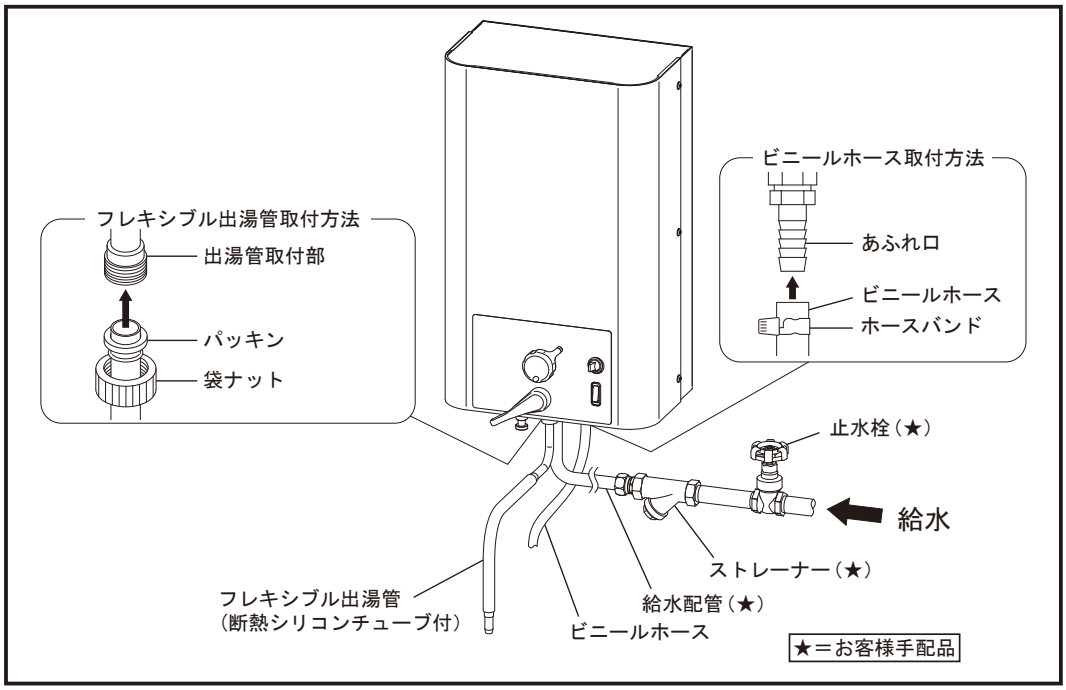


## 2. 配管工事

| ⚠注意 | |
|---|---|
| ⃠ | **温水器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。**<br>落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。 |
| | **水道水以外は使用しないでください。**<br>井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。 |
| | **水道水に添加物を混ぜないでください。**<br>健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。 |
| ❗ | **給水接続配管はステンレス製もしくは銅製のものを使用してください。**<br>漏水の原因となります。 |
| | **満水にしてから通電してください。**<br>故障の原因となります。 |
| | **規定の給水圧力にてご使用ください。給水圧が高い場合は必ず減圧弁を取り付けてください。**<br>誤動作、故障の原因となります。 |
| | **水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。**<br>配管が破損するおそれがあります。 |

①下記の標準配管図を参考に配管を行ってください。

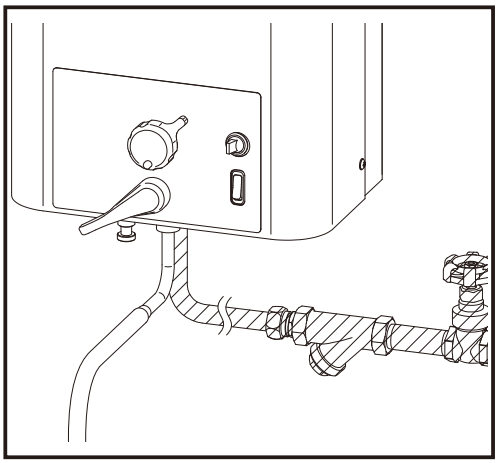
## 標準配管図




※1：沸かし上げ中はビニールホースから水蒸気や水滴が出ますので、排水口空間を確保しシンク等へ向けて接続してください。
※2：排水管は耐熱性のものを使用してください。

## 凍結防止処置

室温が0℃以下（氷点下）になるおそれがあるときは、右図の斜線部（止水栓以降から給水口までの間）に凍結防止処置を施してください。



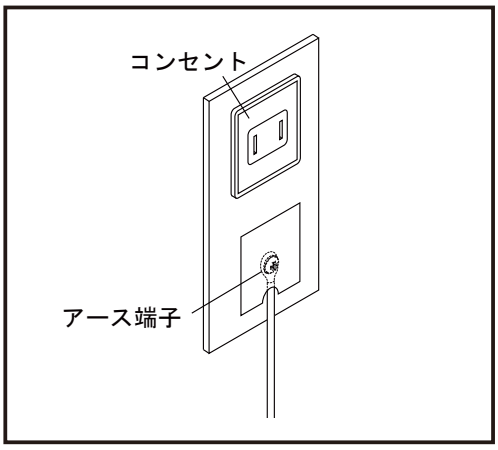
## 3. 電気工事

| ⚠警告 | |
|---|---|
| | **必ずアース（D 種接地）工事を確認してください。**<br>アース工事がされないと故障、漏電発生時に感電するおそれがあります。 |
| | **電圧は定格電圧の± 10%以内でお使いください。**<br>火災の原因となります。 |
| | **必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。**<br>万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。 |
| | **アース線はガス管や水道管、および電話線や避雷針のアースに接続したり、他の電気機器のアースと共用しないでください。**<br>火災や爆発など事故の原因となります。 |
| | **絶対に改造はしないでください。**<br>火災、感電、やけど、湯槽破損やケガの原因となります。 |

①電源一次側にお客様手配品の漏電ブレーカを取り付け、D種接地工事を行ってください。

②アース端子が接続してあることを確認してください。

※接続されていない場合は、必ず管理技術者の方に依頼して取付けてください。



## 4. 施工後の確認

### チェックリスト

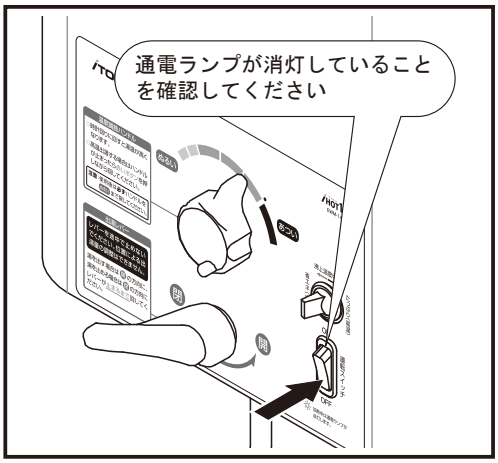
| 項　目 | チェック内容 | チェック |
|---|---|---|
| 設置工事 | 温水器にがたつきはありませんか？ | ☐ |
| 配管工事 | 各配管、継手に漏水はないですか？ | ☐ |
| | フレキシブル出湯管の接続部分にゆるみはありませんか？ | ☐ |
| 電気工事 | 漏電ブレーカは正しく作動しますか？ | ☐ |
| | D種接地工事は正しく行われていますか？ | ☐ |

# 試運転を行う

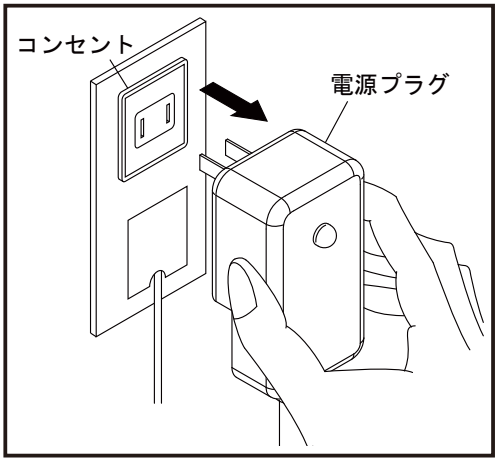
| ⚠注意 | |
|---|---|
| ⃠ | **水道水以外は使用しないでください。**<br>井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。 |
| | **水道水に添加物を混ぜないでください。**<br>健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。 |
| ❗ | **満水にしてから通電してください。**<br>故障の原因となります。 |
| | **規定の給水圧力にてご使用ください。給水圧が高い場合は必ず減圧弁を取り付けてください。**<br>誤動作、故障の原因となります。 |
| | **電源プラグを抜くときは、コードを持たずプラグ本体を持って抜いてください。**<br>感電、発火のおそれがあります。 |

## 1. 温水器に給水する

①運転スイッチがOFF になっていることを確認してください。



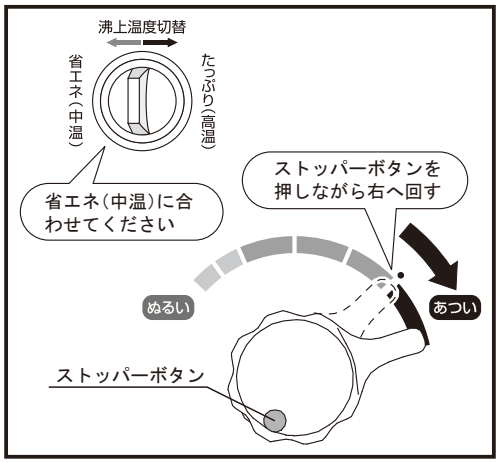

②電源プラグがコンセントから外れていることを確認してください。



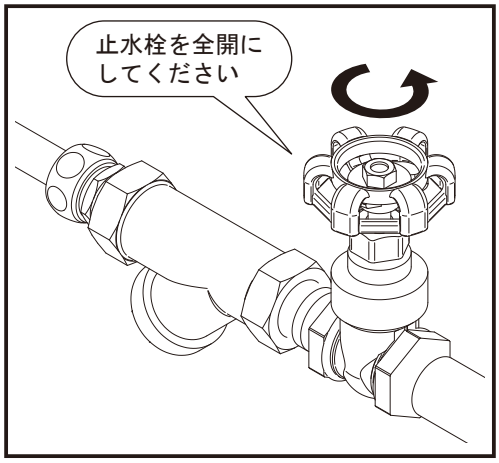
③温度調節ハンドルを**あつい**に、沸上温度切替スイッチを省エネ(中温)に合わせます。

**工場出荷時はそれぞれ**あつい**、省エネ(中温)に設定されていますが、輸送など何らかの影響で設定が変わっている場合がありますので確認してください。**

※温度調節ハンドルを**あつい**(高温範囲)に設定するときは、点の位置からストッパーボタンを押しながら右へ回してください。

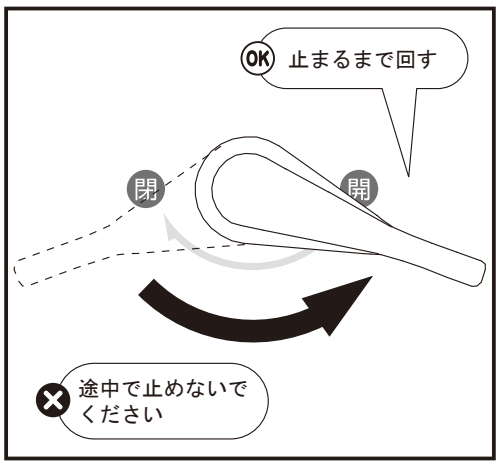



④止水栓を全開にします。




⑤出湯レバーを開の方向に止まるまで回します。

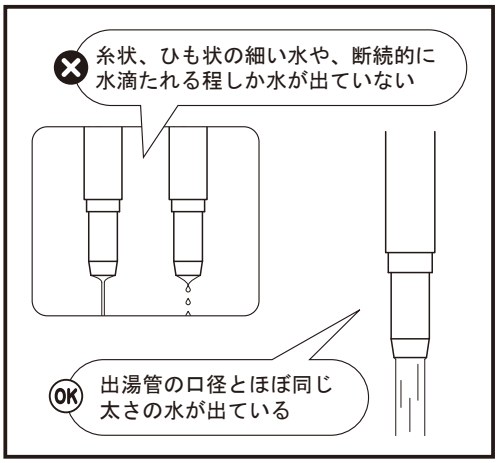
※レバーは途中で止めないでください。途中で止めると給水時間が長くなります。



⑥出湯管からの通水状態※を見て、湯槽が満水になったか確認します。

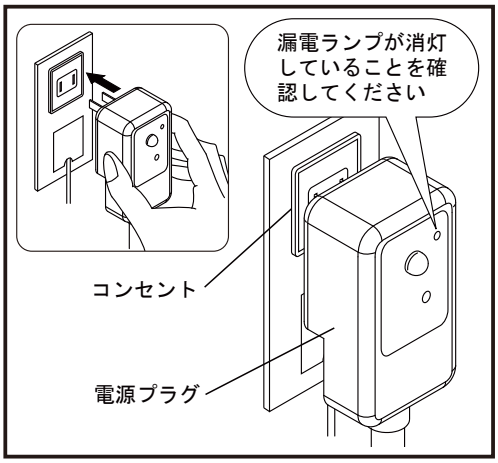
**※出湯管の口径とほぼ同じ太さの水が出ていれば、湯槽は満水状態です。**

⑦満水の確認が出来たら、出湯レバーを閉の方向に止まるまで回し、温度調節ハンドルを ぬるい に戻してください。




## 2. 試運転を行う

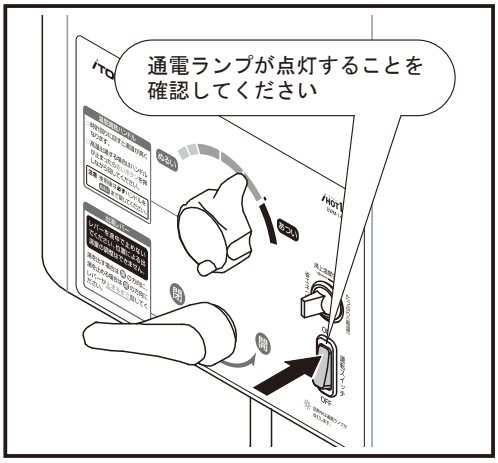
①電源プラグをコンセントに差し込み、電源プラグ付属の漏電遮断機能がON（右上のランプが消灯）になっていることを確認してください。



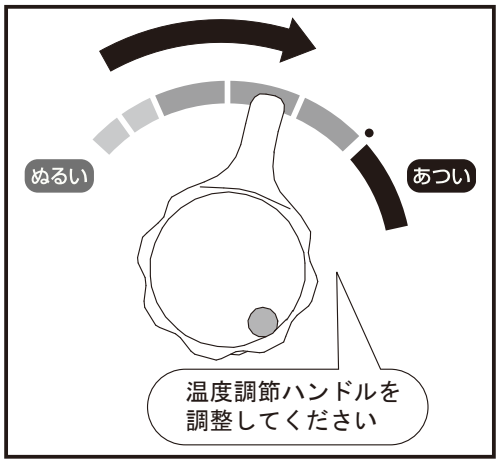

②温水器の運転スイッチをONにして、通電ランプが点灯することを確認してください。

③沸かし上げが終了すると通電ランプが消灯します。（沸き上がり時間はP.25『沸き上がり時間の目安』参照）

※沸かし上げ中はあふれ口から湯気や水滴が出ることがありますが、故障ではありません。

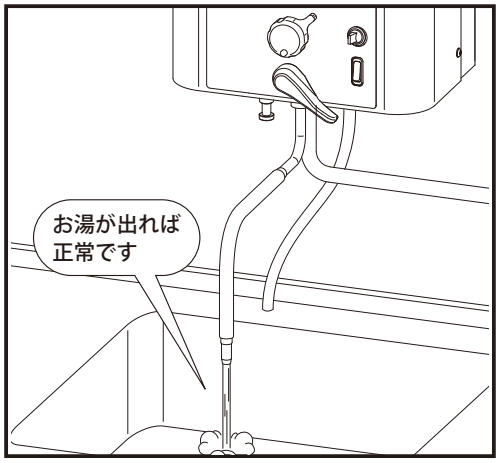


④ P.28『出湯温度の目安』を参考にして温度調節ハンドルを調整します。



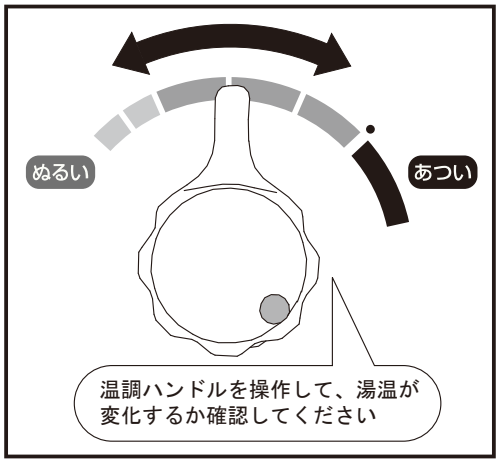

⑤出湯レバーを開の方向に止まるまで回し、出湯します。出湯管からお湯が出れば正常です。

> ⚠ 注意 **設定温度に関わらず、お湯の出はじめに少量の熱湯が出る場合がありますので、お湯に触れないでください。**
> やけどの危険があります。




⑥温度調節ハンドルを操作して湯温が変化することを確認出来れば正常です。

> ⚠ 注意 **確認の際には熱湯にご注意ください。**
> やけどの危険があります。



## 3. 試運転後の確認

### チェックリスト

| 項　目 | チェック内容 | チェック |
|---|---|---|
| 漏　水 | 各配管、継手に漏水はないですか？ | ☐ |
| 電　圧 | 定格電圧± 10% 以内ですか？ | ☐ |
| 給　湯 | 出湯レバーを開くと水やお湯が出ますか？ | ☐ |
| | 温度調節ハンドルを操作して出湯すると、湯温が変化しますか？ | ☐ |

**以上で施工終了です。**

# 取扱説明

**正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。**

# 使用方法

| ⚠警告 | |
|---|---|
| ❗ | **電圧は定格電圧の± 10%以内でお使いください。**<br>火災の原因となります。 |
| | **100V 15A 以上のコンセントを専用でお使いください。**<br>火災のおそれがあります。 |
| | **電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。**<br>火災のおそれがあります。 |
| | **排水は必ず本体の電源を切ってから行ってください。**<br>感電のおそれがあります。 |
| 🚫 | **交流 100V 以外で使用しないでください。**<br>火災、感電の原因となります。 |
| | **本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。**<br>発火のおそれがあります。 |
| | **濡れた手で電源の操作を行わないでください。**<br>感電のおそれがあります。 |
| 🚫 | **給湯中とその直後は高温になっていますので、出湯管に直接触れないでください。**<br>やけどのおそれがあります。 |

| ⚠注意 | |
|---|---|
| 🚫 | **温水器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。**<br>落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。 |
| | **水道水以外は使用しないでください。**<br>井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。 |
| | **水道水に添加物を混ぜないでください。**<br>健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。 |
| | **長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。**<br>健康を害するおそれがあります。 |
| | **出湯管の先端は絶対にふさがないでください。また、出湯管に泡沫器具やホース・浄水器など取り付けないでください。**<br>あふれ口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。 |
| | **あふれ口の先端は絶対にふさがないでください。**<br>湯槽や配管が破損して漏水や故障の原因となります。 |
| | **出湯レバーは途中で止めないでください。**<br>あふれ口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。 |
| ❗ | **温水器の満水質量に耐えられる十分な強度を持つ壁面に必ず垂直に設置してください。**<br>故障の原因となります。 |
| | **給水接続配管はステンレス製もしくは銅製のものを使用してください。**<br>漏水の原因となります。 |
| | **満水にしてから通電してください。**<br>故障の原因となります。 |
| | **飲用する場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。**<br>健康を害するおそれがあります。 |
| | **規定の給水圧力にてご使用ください。給水圧が高い場合は必ず減圧弁を取り付けてください。**<br>誤動作、故障の原因となります。 |

| ⚠注意 | |
|---|---|
| ❗ | **長期間使用しない場合は湯槽の水を抜いてください。**<br>水質が悪化するおそれがあります。 |
| | **電源プラグを抜くときは、コードを持たずプラグ本体を持って抜いてください。**<br>感電、発火のおそれがあります。 |

## 1. 使用前の準備と確認

ご使用の前に次の事をご確認ください。

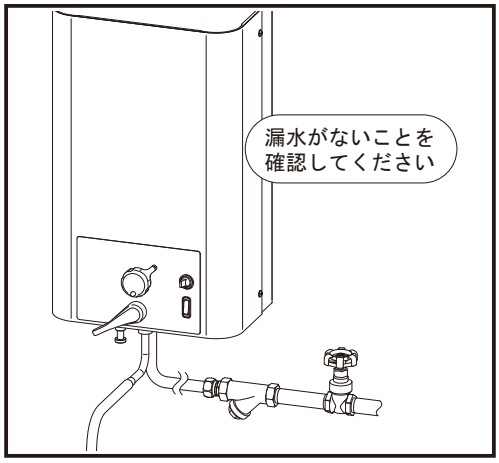
### チェックリスト

| 項　目 | チェック内容 | チェック |
|---|---|---|
| 本体まわり | 近くにガス類や引火物がないですか？ | ☐ |
| | 本体の上には物などを載せていませんか？ | ☐ |

## 2. 運転する

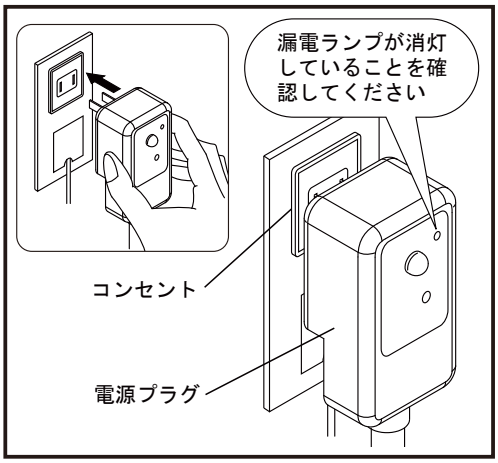
| ⚠注意 | |
|---|---|
| 🚫 | **温水器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。**<br>落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。 |
| | **水道水以外は使用しないでください。**<br>井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。 |
| | **水道水に添加物を混ぜないでください。**<br>健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。 |
| ❗ | **満水にしてから通電してください。**<br>故障の原因となります。 |
| | **規定の給水圧力にてご使用ください。給水圧が高い場合は必ず減圧弁を取り付けてください。**<br>誤動作、故障の原因となります。 |

① P.17『温水器に給水する』を参照し湯槽に給水して、温水器本体や配管部からの漏水がないか確認してください。



## 使用方法

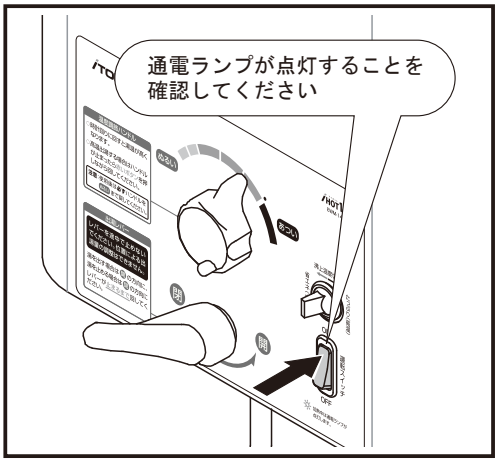
②電源プラグをコンセントに差し込み、電源プラグ付属の漏電遮断機能がON（右上のランプが消灯）になっていることを確認してください。




③温水器の運転スイッチをONにして、通電ランプが点灯することを確認してください。

④沸かし上げが終了すると通電ランプが消灯します。（沸き上がり時間は下記の『沸き上がり時間の目安』参照）

※沸かし上げ中はあふれ口から湯気や水滴が出ることがありますが、故障ではありません。




### 沸き上がり時間の目安

| 項目 / 型番 | 運転モード（沸き上げ温度） | 定格電圧 | 貯湯量（リットル） | 標準ヒーター容量（W） | 沸き上がり時間 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 給水温度 | | |
| | | | | | 5℃ | 15℃ | 25℃ |
| EWM-14 | 省エネ（中温）※1 | 単相 100V | 14 | 701 | 84分 | 70分 | 56分 |
| | たっぷり（高温）※2 | | | | 112分 | 98分 | 84分 |

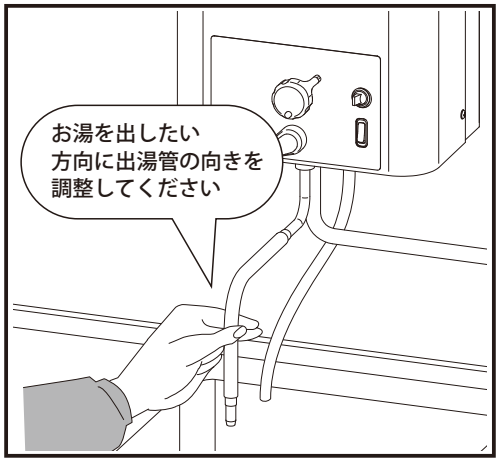
※ 1：沸き上がり温度 65℃
※ 2：沸き上がり温度 85℃

## 3. 出湯する

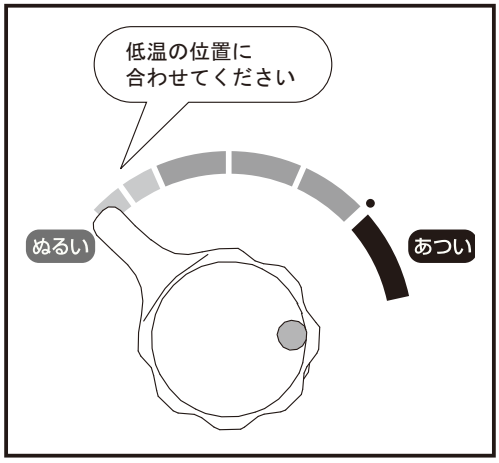
| ⚠警告 | |
|---|---|
| | **給湯中とその直後は高温になっていますので、出湯管に直接触れないでください。**<br>やけどのおそれがあります。 |

| ⚠注意 | |
|---|---|
| | **長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。**<br>健康を害するおそれがあります。 |
| | **出湯管の先端は絶対にふさがないでください。また、出湯管に泡沫器具やホース・浄水器など取り付けないでください。**<br>あふれ口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。 |
| | **あふれ口の先端は絶対にふさがないでください。**<br>湯槽や配管が破損して漏水や故障の原因となります。 |
| | **出湯レバーは途中で止めないでください。**<br>あふれ口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。 |
| | **満水にしてから通電してください。**<br>故障の原因となります。 |
| | **飲用する場合は、必ず一度やかんなどで沸かしてからお飲みください。**<br>健康を害するおそれがあります。 |

①出湯管の先端を出湯したい方向に向けます。




②温度調節ハンドルを**ぬるい**に合わせます。

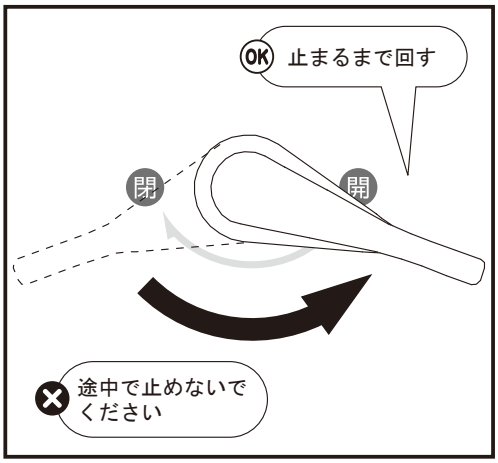


## 使用方法

③出湯レバーを開の方向に止まるまで回します。

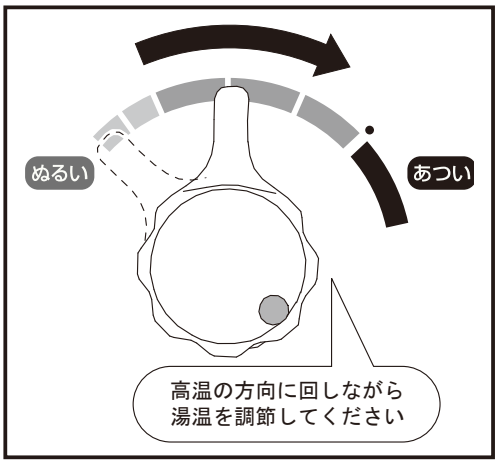
**出湯レバーについて**
出湯レバーは途中で止めないでください。
**途中で止めるとあふれ口から熱湯が出ることがあります。**

**注意** **設定温度に関わらず、お湯の出はじめに少量の熱湯が出る場合がありますので、お湯に触れないでください。**
やけどの危険があります。



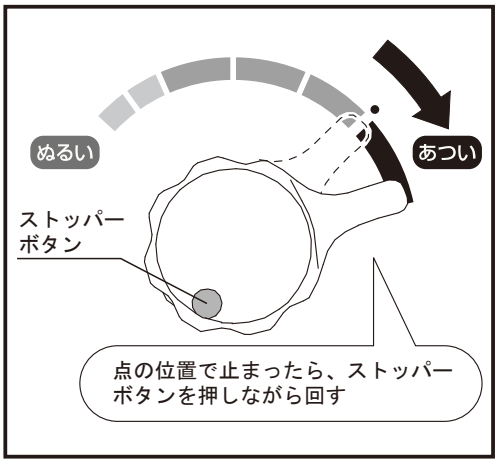

④お湯を出したまま温度調節ハンドルを徐々にあついの方向に回し、湯温を調節しながらお使いください。

**注意** **確認の際には熱湯にご注意ください。**
やけどの危険があります。




**高温出湯を行う場合は…**
点の位置からストッパーボタンを押しながら右(高温範囲)へ回してください。

**注意** **出湯後は温度調節ハンドルをぬるいまで戻してください。**
やけどの危険があります。

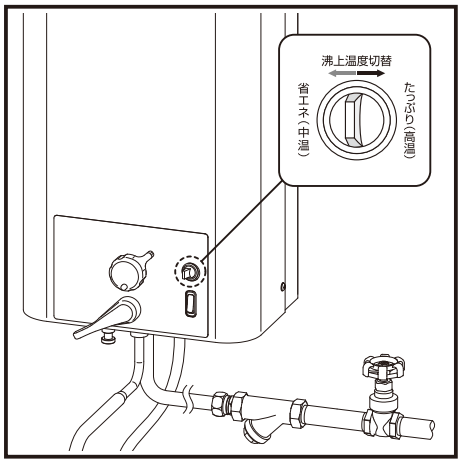


## 4. 沸上温度切替スイッチの使い方

沸上温度切替スイッチを切り替えることで、沸き上がり温度を変更することが可能です。
ご使用状況に応じて、切り替えてお使いください。
（工場出荷時は省エネ（中温）モードに設定されています。）

| 設定 | 沸き上がり温度 |
|---|---|
| 省エネ（中温） | 約 65℃ |
| たっぷり（高温） | 約 85℃ |

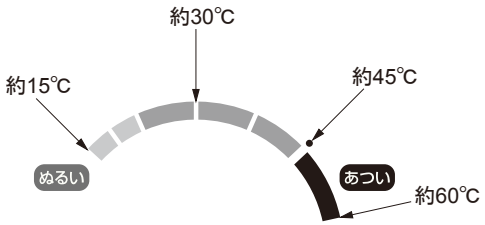
**夏場などお湯の使用量が少ないときには省エネ（中温）モード、冬場などお湯の使用量が多いときはたっぷり（高温）モードでご使用いただくと便利です。**



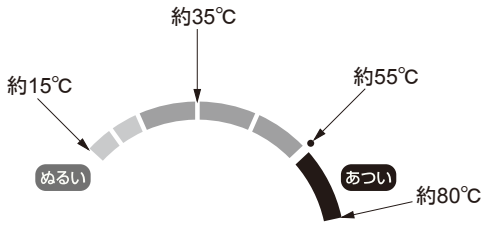

### 出湯温度の目安

（給水温度 15℃、給水圧力 0.1MPaの場合）

**省エネ（中温）モード**




**たっぷり（高温）モード**




※給水温度、給水圧力などの条件により出湯温度は変化します。

### 連続出湯時間

（給水温度 15℃、出湯温度約 40℃で出湯した場合）

省エネ（中温）モード　：約 8分
たっぷり（高温）モード ：約 11分

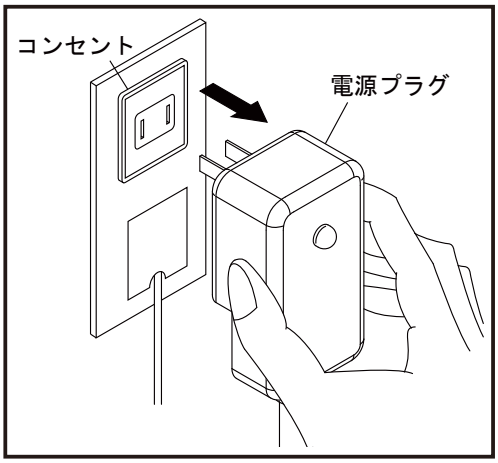
# 長期間使用しないときは（排水の方法）

| ⚠警告 | |
|---|---|
| | **濡れた手で電源の操作を行わないでください。**<br>感電のおそれがあります。 |
| | **給湯中とその直後は高温になっていますので、出湯管に直接触れないでください。**<br>やけどのおそれがあります。 |

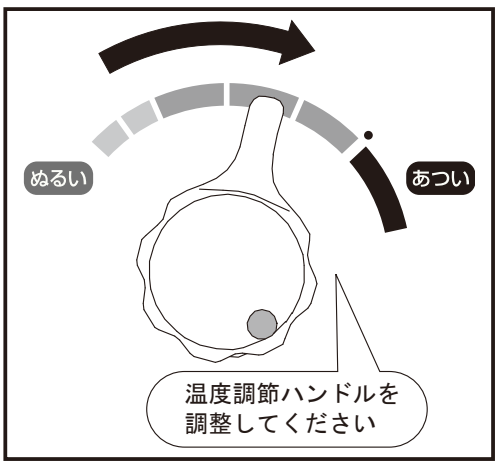
| ⚠注意 | |
|---|---|
| | **出湯レバーは途中で止めないでください。**<br>あふれ口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。 |
| | **長期間使用しない場合は湯槽の水を抜いてください。**<br>水質が悪化するおそれがあります。 |
| | **電源プラグを抜くときは、コードを持たずプラグ本体を持って抜いてください。**<br>感電、発火のおそれがあります。 |

長期間、温水器をご使用にならない場合には水質劣化を防ぐため、下記の手順に沿って湯槽内のお湯を抜いてください。

①運転スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜きます。

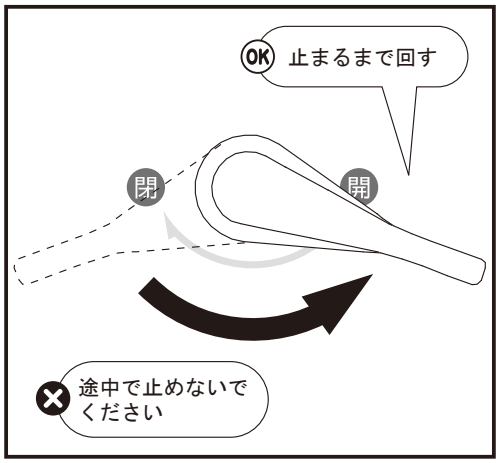



② P.28『出湯温度の目安』を参考に温度調節ハンドルを調整します。

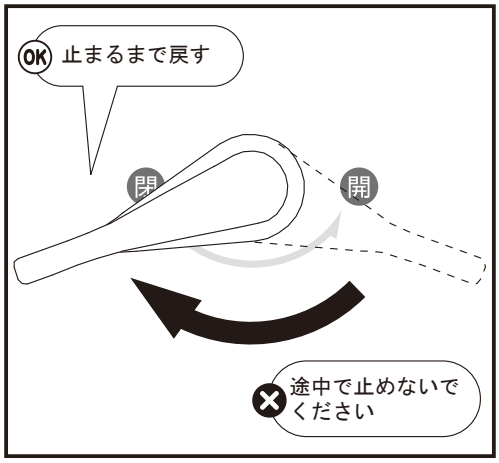


③出湯レバーを開の方向に止まるまで回し、出湯します。

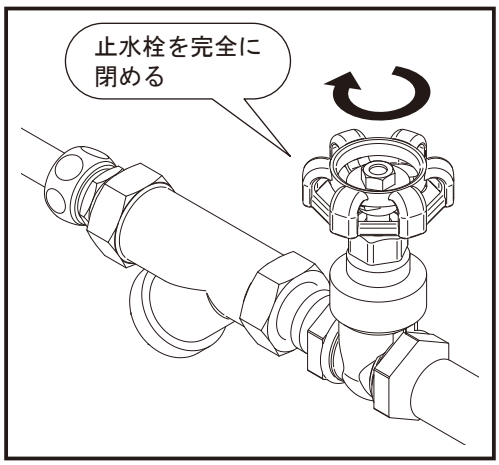
**出湯レバーについて**
出湯レバーは途中で止めないでください。
**途中で止めるとあふれ口から熱湯が出ることがあります。**




④出湯温度が低くなったら、出湯レバーを閉の方向に止まるまで戻し、止水します。



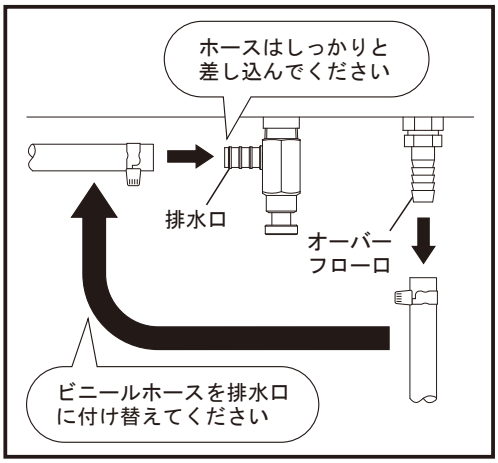

⑤止水栓を完全に閉めます。



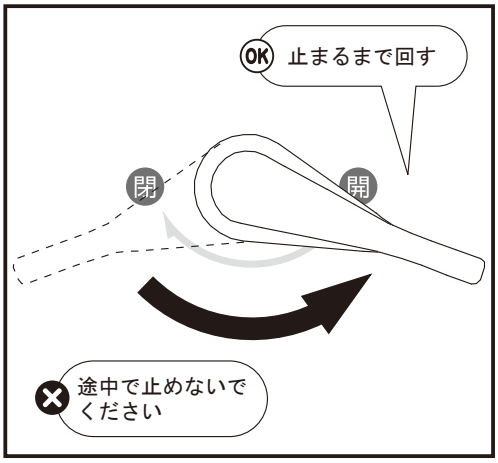
## 長期間使用しないときは（排水の方法）

⑥ビニールホースをあふれ口から排水口に付け替えます。

※ビニールホースの先端はシンク等に向けて接続してください。

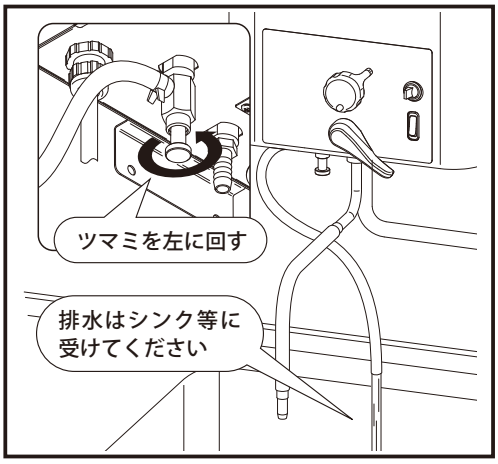



⑦出湯レバーを開の方向に止まるまで回します。

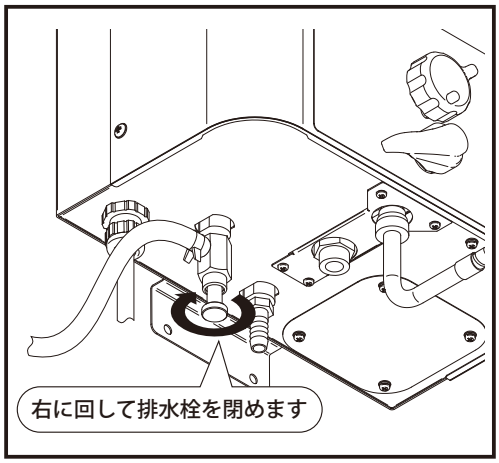



⑧排水栓のツマミを回して排水します。

※排水を行うときは、必ず排水口空間を確保してください。

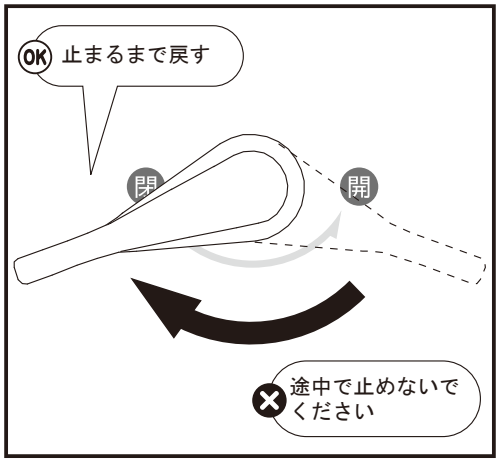


⑨排水が終わったら、排水栓のツマミを回して排水口を閉めます。




⑩出湯レバーを閉の方向に止まるまで戻します。

⑪ビニールホースを排水口からあふれ口に戻します。




## お願い

**排水管は耐熱性のものを使用してください。**

**温度調節ハンドルを長期間動かさないと、水アカの付着などによりハンドルが動かなくなることがありますので、定期的にハンドルを動かしてください。**

**湯槽が空のときには運転スイッチを ON にしないでください。**
故障の原因となります。

# お手入れの方法

| ⚠警告 | |
|---|---|
| | **本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。**<br>発火のおそれがあります。 |
| | **濡れた手で電源の操作を行わないでください。**<br>感電のおそれがあります。 |
| | **給湯中とその直後は高温になっていますので、出湯管に直接触れないでください。**<br>やけどのおそれがあります。 |

| ⚠注意 | |
|---|---|
| | **電源プラグを抜くときは、コードを持たずプラグ本体を持って抜いてください。**<br>感電、発火のおそれがあります。 |

## 保守点検項目と実施の目安

| 点検項目 | 点検内容 | 点検の目安 |
|---|---|---|
| 管理技術者の方のみ<br>**電圧の測定** | 定格電圧の±10％の範囲で使用されていることを確認してください。過電圧はヒーター断線の原因になります。また、低電圧の場合は能力が低下します。 | 1回／月 |
| 管理技術者の方のみ<br>**電流値の測定** | 定格電流の±10％の範囲で使用されていることを確認してください。使用開始時と再使用時には特にご注意ください。 | |
| 管理技術者の方のみ<br>**ヒーター絶縁抵抗測定** | 絶縁抵抗計（500Vメガー）にて測定、1MΩ以上あることを確認してください。 | |
| **コードおよびプラグの点検** | コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。トラッキング現象による火災防止のために一次側の漏電ブレーカおよび電源プラグ付属の漏電遮断器をOFFにし、コンセントの周りやプラグを乾いた布等で清掃してください。 | |
| **漏電遮断器の動作確認** | P.34『漏電遮断器の動作確認』を参照し、漏電遮断器の動作確認を行ってください。 | |
| **漏水全般についての点検** | 本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。 | 1回／日 |
| **湯槽内部の清掃** | P.17『温水器に給水する』やP.29『長期間使用しないときは（排水の方法）』を参照し、湯槽内の水を強制的に入れ替えてください。 | 1回／年 |

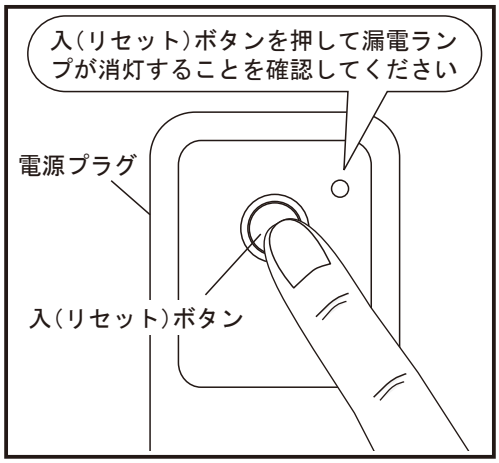
注）長期間ご使用にならない場合は凍結による湯槽の破損や水質変化防止のため、P.29『長期間使用しないときは（排水の方法）』をご参照の上、湯槽内の湯を排水してください。

## 漏電遮断器の動作確認

①アース線が切れていないか、外れていないか確認してください。

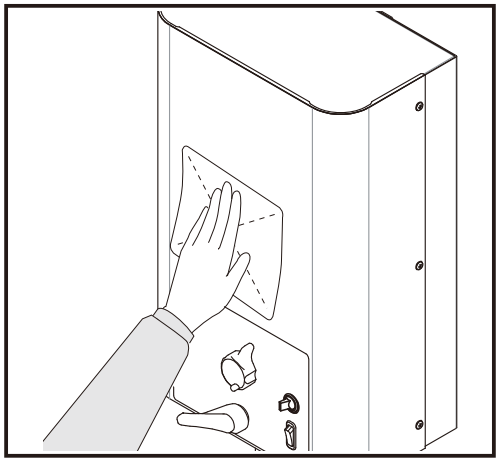
②漏電遮断器のテストボタンを押して、漏電ランプが点灯することを確認してください。

③リセットボタンを押して、漏電ランプが消灯することを確認してください。




## 外装のお手入れ

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



# こんなときは

故障かな？と思っても実際には製品の故障でないことがありますので、修理を依頼される前に下表を参考にしてチェックしてください。

**点検するときは、やけどや感電にご注意ください。**
**ご不明な点や不具合が見つかった場合は直ちに運転を中止し、弊社フロント課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社までご連絡ください。**

| 状　況 | ご確認ください | 対処方法 |
|---|---|---|
| 湯が沸かない<br>湯にならない | 電源プラグは確実にコンセントに差し込んでありますか？ | 確実に差し込んである場合でも、結線部が断線していることもありますので、点検してください。 |
| | 運転スイッチがOFFになっていませんか？ | 運転スイッチがOFFの場合はONにしてください。<br>ONにしても通電ランプが点灯しない場合は、電源プラグを抜き、弊社フロント課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社までご連絡ください。 |
| | 温水器に給水されていますか？（満水状態ですか？） | 温度調節ハンドルを「あつい」に合わせ、出湯レバーを全開にして、通水状態を確認してください。<br>→ P.17『温水器に給水する』参照。<br>また、瞬間式ではありませんので沸き上がるまで時間がかかります。 |
| | 一次側の漏電ブレーカおよび電源プラグ付属の漏電遮断器がOFFまたは切になっていませんか？ | 一次側の漏電ブレーカがOFFの場合はONにしてください。<br>電源プラグ付属の漏電遮断器が切（漏電ランプ点灯）の場合は、リセットボタンを押して入（漏電ランプ消灯）にしてください。<br>→ P.34『漏電遮断器の動作確認』参照。 |
| | 過昇温防止装置が作動していませんか？ | 本器には「空焚き検出」および「過昇温検出」（サーモスタットのトラブル時などに発生するオーバーヒート防止）兼用装置が装備されています。<br>復帰するには温水器の運転を停止し、管理技術者の方にご依頼ください。<br>→ P.37『リセットの方法』参照。 |
| | 電圧が誤っていませんか？ | 本器を200 Vで使用すると電源プラグ付属の過電圧保護機能が作動し、電源を遮断します。正規の電圧でご使用ください。 |
| | ヒーターの故障ではありませんか？ | ヒーターの導通を測ってください。故障の場合は、弊社フロント課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社までご連絡ください。 |
| 湯温が低いまたは沸き上がり時間が長すぎる | 設定温度が低くありませんか？ | 温度調節ハンドルを希望の温度になるよう調整してください。 |
| | 湯を大量に使用した直後ではありませんか？ | 瞬間式ではありませんので沸き上がるまで時間がかかります。 |
| | 水温が低くありませんか？ | 秋から冬にかけては水温が急激に下がりるため、沸き上がり時間が長くなります。<br>→ P.25『沸き上がり時間の目安』参照。 |

| 状　況 | ご確認ください | 対処方法 |
|---|---|---|
| 湯量が少ない<br>湯も水も出ない | 断水ではありませんか？ | 断水が終わるまでお待ちください。 |
| | 給水量が不足しているのではありませんか？ | ストレーナーなどが詰まっている可能性がありますので、管理技術者の方に依頼し、清掃を行ってください。 |
| | 止水栓が閉まっていませんか？ | 閉まっていたら開けてください。 |
| 湯が臭い<br>湯が汚れている | 設置直後ではありませんか？ | 設置直後などは工事の際の切削油等が流入することがありますので、水をしばらく出し続けてください。 |
| | 長期間の休止後ではありませんか？<br>断水直後ではありませんか？ | 休止後は水の汚れや配管内の錆が出ることがあります。湯槽内の水を入れ替えてください。 |
| あふれ口から水またはお湯がずっと出ている | 出湯レバーが途中で止まっていませんか？ | 途中で止まっている場合は「開」「閉」どちらかにレバーを動かしてください。 |
| | 出湯管から出る水、またはお湯の量が少なくありませんか？ | 出湯管が詰まっている可能性がありますので、弊社フロント課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社までご連絡ください。 |
| 漏水している | 本体からですか？ | 止水栓を閉め、一次側の漏電ブレーカをOFFにしてください。<br>弊社フロント課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社までご連絡ください。 |
| | 配管接続部からですか？ | 各配管接続部を締め直してください。 |
| 給水時に温水器本体や配管が振動音を発する | 給水管に30cm以上フレキ管を使用しているか、配管支持がされていないのではありませんか？ | 配管を固定していないと水圧の変動「ウォーターハンマー」の影響が直接出ることがありますので、固定してください。フレキ管の場合は給水抵抗を少なくするよう、曲げ方を工夫してください。 |
| | 給水圧力が高くありませんか？ | 給水圧力が0.5MPaを超える場合は、弊社関連商品『一軸減圧弁いちじく（iJG-K）』を必ず取付けてください。 |

## その他の不具合について

その他の不具合は、P.40の故障状況シートをFAXいただくか、弊社フロント課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社までご連絡ください。

## リセットの方法

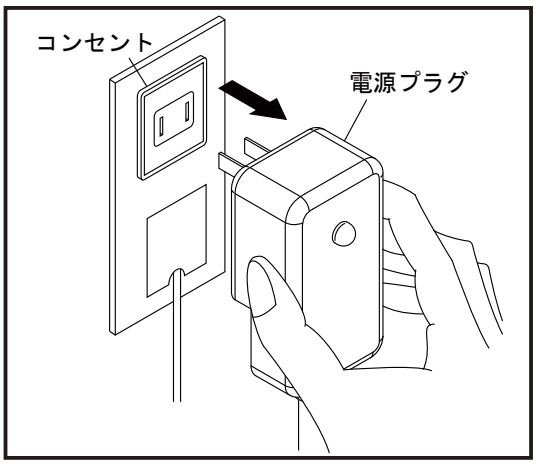
### 管理技術者の方のみ

| ⚠警告 | |
|---|---|
| | **リセット操作時以外は前面カバーを開けないでください。**<br>感電、やけどのおそれがあります。 |
| | **給湯中とその直後は高温になっていますので、出湯管に直接触れないでください。**<br>やけどのおそれがあります。 |
| | **作業時は手袋を着用してください。**<br>思わぬ事故のおそれがあります。 |

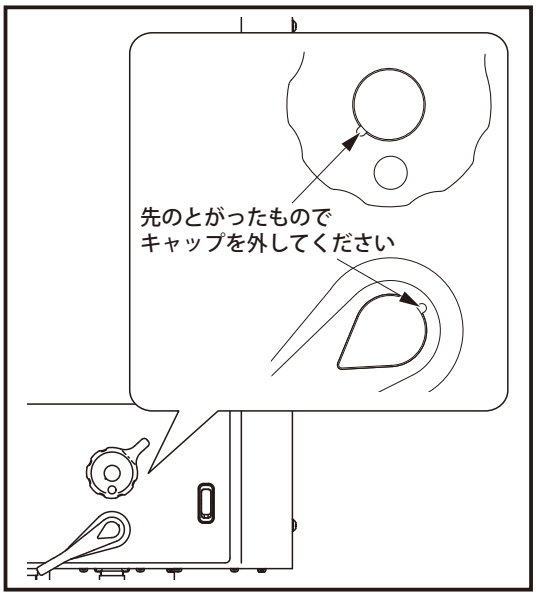
**※この操作は本器内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。**

EWM-14には「空焚き検出」および「過昇温検出」（温度調節器のトラブル時などに発生するオーバーヒート防止）兼用装置が装備されています。何らかの理由で作動し、運転が停止した場合には、下記の手順でリセット操作を行ってください。

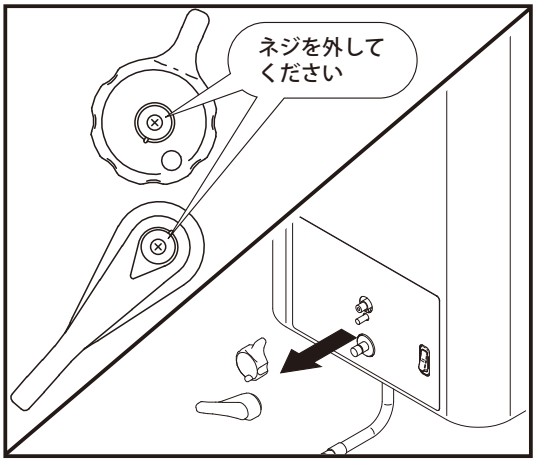
①運転スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜きます。



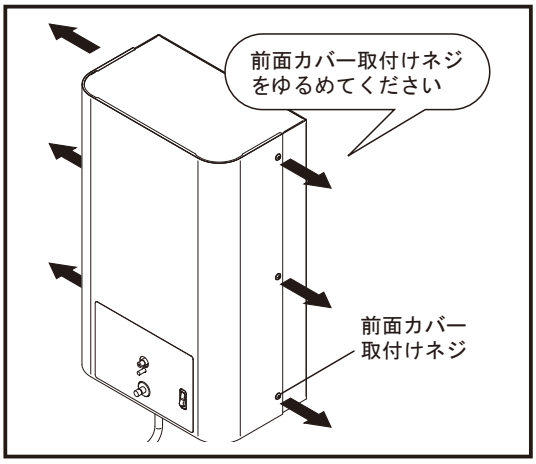

②温度調節ハンドル、出湯レバーに付いているキャップを、先のとがったもので外します。



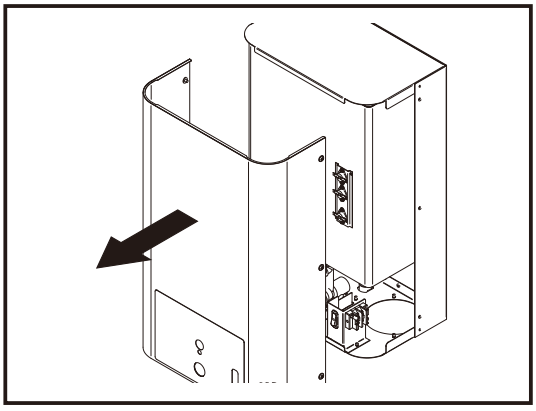
③キャップを外したら、固定ネジをそれぞれ外し、温度調節ハンドル、出湯レバーを取り外します。




④前面カバー取付けネジ（6箇所）をゆるめます。
※ネジは紛失防止のため、外れない構造になっています。

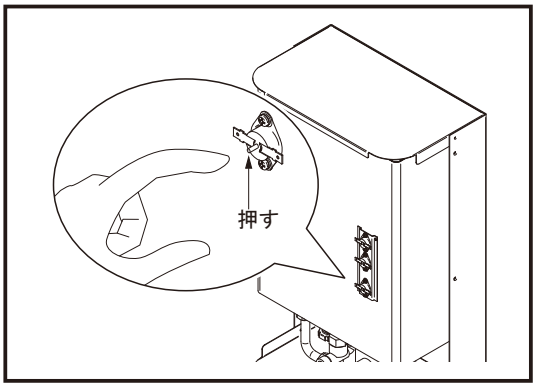



⑤前面カバーをゆっくりと外します。



⑥十分に温度が下がってから右図の過昇温リセットボタンを押してください。

⑦外したときと逆の手順で前面カバー、前面カバー取付けネジ、温度調節ハンドル、出湯レバーをそれぞれ取付けて終了です。



# アフターサービス

## 消耗品の定期交換について

**下記に記載の部品は定期的に交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。(下表参照)** 交換(有償)、購入のご依頼は弊社フロント課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社にご依頼ください。

| 部品名 | 交換時期の目安 | 交換いただく理由 |
|---|---|---|
| ヒーター | 設置、交換日より<br>2～5年 | 長期間ご使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。(※水道水中のミネラル分が固着したもの。) |
| ビニールホース | | |

※上記以外でもパッキン類や電気部品交換が必要になる場合があります。使用頻度、環境によっては交換時期が早まる場合があります。

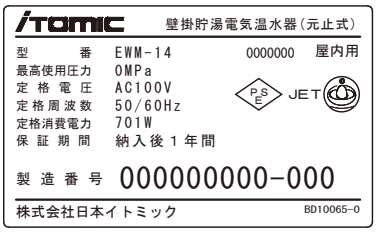
## 補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後７年です。

## 修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.40の故障状況シートをコピーして必要事項をご記入いただき、FAXにてご送付ください。FAXをお使いになられていない場合は記入事項をお電話にてご連絡ください。(型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。)

※保証票は製品底面に貼付けてあります。




**(株)日本イトミック フロント課　FAX 03-3621-2163**
**TEL 03-3621-2161**
**※または最寄りの営業所もしくは地区販売会社へご連絡ください。**

MEMO

| 故障状況シート | | | |
|---|---|---|---|
| 貴　社　名 | | ご担当者名 | |
| ご　住　所 | | | |
| T　E　L | | F　A　X | |
| 製品型番 | EWM-14 | | |
| 電源、電力 | 単相 100V　701W | 製造番号 | |
| 設置場所 | | 保証期限 | |
| 状　　態 | | | |

MEMO

# 【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から1年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、弊社フロント課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社にご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、弊社フロント課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前に弊社フロント課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
   （１）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・湯槽内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
   （２）Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
   （３）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
   （４）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
   （５）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
   （６）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
   （７）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
   （８）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
   （９）電気・給水の供給トラブル等による不具合
   （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
   （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合
   （12）火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
   （13）保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認いただくとともに、不明点は弊社フロント課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認いただくとともに、不明点は弊社フロント課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社にご相談ください。

### ■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧いただくか、弊社フロント課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

## 株式会社日本イトミック

**本社・営業本部** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2121（代）**
**FAX：03（3621）2130**
〒130-0002　東京都墨田区業平5-11-3（イトミックビル）
ホームページ　http://www.itomic.co.jp/


### 《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話・携帯電話の場合（市内通話料金でご利用可能です）

市内通話料でOK ナビダイヤル®

**0570-011039**

**【ナビダイヤルに関するご注意】**

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。
※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。その場合には関東地区のお客様はフロント課、中部・近畿地区のお客様は西日本修理受付センター、その他の地域のお客様は最寄りの営業所もしくは地区販売会社まで直接お電話ください。

**フロント課** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2161（代）**
**FAX：03（3621）2163**
**西日本修理受付センター** ・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：052（228）0824**

### 《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。
また、部品のご注文はフロント課で承っています。

**リニューアル課** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（5860）4992（代）**
**FAX：03（3621）2163**

### 《担当エリアと営業所・地区販売会社》

**北海道地区** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:011（615）6681（代）**
（株）北海道イトミック **FAX：011（615）7004**
〒063-0801　北海道札幌市西区二十四軒１条5-1-10（ラポール24軒２号館）
担当エリア：北海道地区全域

**東北・新潟地区** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:022（773）6161（代）**
（株）東北イトミック **FAX：022（773）6213**
〒981-3125　宮城県仙台市泉区みずほ台4-3
担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県／新潟県

**関東地区** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:03（3621）2121（代）**
（株）日本イトミック **FAX：03（3621）2130**
〒130-0002　東京都墨田区業平5-11-3（イトミックビル）
担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／山梨県／神奈川県／静岡県

**中部・北陸地区** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:052（222）2561（代）**
（株）日本イトミック　中部営業所 **FAX：052（222）2559**
〒460-0002　愛知県名古屋市中区丸の内1-4-12（アレックスビル3F）
担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

**近畿地区** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:06（6226）0800（代）**
（株）日本イトミック　関西営業所 **FAX：06（6226）0802**
〒541-0048　大阪府大阪市中央区瓦町3-4-7（KCビル9F）
担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

**中国・四国地区** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:082（240）1361（代）**
（株）日本イトミック　中国営業所 **FAX：082（240）1363**
〒730-0051　広島県広島市中区大手町1-7-12（徳永ビル）
担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

**九州・沖縄地区** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:092（481）3911（代）**
（株）九州イトミック **FAX：092（481）3930**
〒812-0007　福岡県福岡市博多区東比恵3-28-5
担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。


WM00D10002-4

VEGETABLE OIL INK

この印刷物は、再生紙と植物油インクを使用しています。

'13.03-4-1-5 ①